ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）
ET45I007	理科指導法特論(Special Seminar in Methodology of Science Teaching)	教科実践

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員
選択	2	1	大学院教育学研究科			氏名　三次　徳二 E-mail　tokuji@oita-u.ac.jp　内線　7723

授業の概要	学部における理科指導法（小）や（中），理科授業論などにおける学習成果を基礎として，今日学校において生じている課題のうち，特に理科の指導に関する事項について知り，その改善方法について受講生とともに考えて行くことをねらいとする。

具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	理科の指導に関して，今日学校で生じている課題を理解することができる。	○			○		○				
目標2	理科の指導に関する課題の改善方法について，考察することができる。	○		○			○				
目標3											
目標4											
目標5											
目標6											
目標7											
目標8											
目標9											
目標10											

授業の内容

1	理科の指導に関する課題の調べ方
2	理科の指導に関する課題①（観察，実験の実施状況）
3	観察，実験を実施しやすくする体制づくり
4	理科の指導に関する課題②（全国学力学習状況調査の結果）
5	全国学力状況調査からみた授業改善方法
6	理科の指導に関する課題③（科学的リテラシー）
7	科学的リテラシーの獲得に向けた授業の工夫
8	理科の指導に関する課題④（理数離れの現状）
9	理科好きを増やす授業の工夫
10	理科の指導に関する課題⑤（子どもの自然体験）
11	自然体験が不足した子どもに対する授業展開
12	理科の指導に関する課題⑥（環境教育と理科教育）
13	環境教育やＥＳＤを意識した理科授業の展開方法
14	学校種別の課題について
15	授業のまとめ

アクティブラーニング				その他の工夫
A:知識の定着・確認		発表，話し合い		
B:意見の表現・交換	○			
C:応用志向				
D:知識の活用・創造				

時間外学修の内容と時間の目安	
準備学修	発表の準備(30h)
事後学修	授業で紹介した参考文献の確認(30h)

教科書	特に使用しない。
参考書	文部科学省や国立教育政策研究所などのwebサイト（授業中に指示する）

成績評価の方法及び評価割合

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
発表および課題への取組	60%	○	○								
レポート	40%	○	○								

注意事項	
備考	
リンク	URL